

## 何度も使えてエコ 蜜ろうラップ作り

J A相模原市  
女性会大沢支部

【相模原】J A相模原市女性会大沢支部は1月中旬、相模原市緑区の同J A大沢支店で家の光9月号の記事を



アイロンで蜜ろうを溶かす  
参加者

参考に「みつろうラップ作り」を開いた。会員ら22人が参加した。蜜ろうラップは、蜜ろうをアイロンで溶かし布地に染み込ませて作るラップ。蜜ろうは、ミツバチの巣から採れる「ろう」で、冷蔵庫に入れておくと硬くなり、常温では柔らかくなる性質がある。手の熱で温めるだけで、どんな形にも変化する。野菜や果物を包

んだり、器に合わせて形を作ったりすれば、ふた代わりにもなる。水洗いして自然乾燥するだけで繰り返し使えるので持続可能な開発目標（SDGs）にもつながる「地球にも優しいエコラップ」だ。材料は、布地の他、アイロンやクッキングシートなど家にあるものででき、作業時間も10分ほどでラップが完成した。

同支部の山口富恵支部長は「洗うだけで、何度でも使えてプラスチックごみ削減にもつながる。地球にも優しく、さらに食卓も華やかにになって一石二鳥」と笑顔で話した。